

広 かなすからすやま 報

No.170

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

台風19号猛威振るう.....	2
小学校・幼稚園・保育園の運動会.....	6
さつまいも掘り.....	7
ねんりんピック和歌山に7人が出場.....	8
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム....	9
まちのわだい.....	10
インフォメーション.....	12
鳥山高校の紹介・ジオパーク構想だより.....	14

2019
November
11

うんとどしよ・どっといしよ(10月21日 森田ほ場)

台風19号 猛威振るう

197棟が床上浸水 4千世帯が断水被害

10月12日(土)に東日本へ上陸した台風19号は、日本各地で大きな被害をもたらし、死者・行方不明者は95人に上りました。本市でも、12日から13日にかけての降水量が観測史上最大を記録(小埜のアメダス記録)。那珂川や荒川、江川の堤防が決壊し、床上・床下浸水した家屋が254棟に上りました。また、多くの公共施設が浸水し、特に水道施設の被災では、烏山市街地や七合・境・神長・滝・野上・森田など約4000世帯が断水するなど、市民生活に大きな影響を及ぼしました。

今回は、これらの被害発生経過とその状況をお知らせします。



河川の増水で堤防が決壊 生活に甚大な被害与える

10月6日、マリアナ諸島の東海上に発生した台風19号は、発生からわずか39時間で915ヘクトパスカルと、猛烈な勢力の巨大台風に発達しました。その後、勢力を維持したまま小笠原諸島へ接近し、日本に近づくにつれて勢力は弱まったものの、12日の19時前に955ヘクトパスカルの強い勢力を維持したまま静岡県伊豆半島に上陸しました。本市でも、12日の13時には那須烏山市災害警戒本部を設置し、市内4

被害の状況

【救助状況】ボート救出：16人(城東、向田下境、介添え救出：9人(城東、向田、宮原)

【避難状況】13日0時現在、15か所(烏山公民館、日

野町自治会館、旧向田小学校、烏山南公民館、谷浅見コミュニティセンター、興野集会所、宮原公民館、旧境保育

園、境公民館、大木須公民館、保健福祉センター、輪之内公民館、藤田公民館、三箇公民館、下川井上公民館、上川

井公民館)の避難所に144世帯348人が避難

【浸水被害】▽床上：197棟 ▽床下：57棟

計254棟 滝田、興野、城東、宮原、大沢、初音、下境、野上、向田、旭2丁目、下川井、小倉、岩子、森田) ▽



台風19号災害



①大量の水が流れる江川（滝にて）、②山あげ会館の給水所には水を求める多くの市民が、③烏山体育館では多くの避難者が不安な一夜を過ごした



か所に避難所を開設するなど、嚴重な警戒態勢が敷かれました。

時間を追って振り返ると13時44分に大雨警報（浸水害）、暴風警報が出されると同時に雨が強まり、15時41分には洪水警報が発令。16時18分には滝・向田・野上・森田地区で停電となり、18時頃から風が強まりました。19時45分に、土砂災害警戒情報が発表されると、ほぼ同時の19時47分には、荒川流域（三箇・小井・藤田・小倉・南大和・久・岩子・高瀬・小河原・森田・小埜・落合・向田）に警戒レベル4の避難勧告が発令され、住民が避難を開始しました。その後、20時30分に連城橋水位観測局さくら市で氾濫危険水位を超過し、被害情報などが殺到したため、20時43分、市役所職員全員に緊急参集が指令され、危険区域の監視や警戒、避難所の設営にあたりました。

さらに20時27分、那珂川流域（谷浅見・興野・滝田・宮原・城東・表野上・下境・小原沢）に警戒レベル4の避難勧告が発令。20時50分には、小口水位観測局（那珂川町）で氾濫危険水位を超過しました。21時11分には、荒川流域（三箇・小井・藤田・小倉・南大和・久・岩子・高瀬・小河原・森田・小埜・落合・向田）に警戒レベル4の避難指示（緊急）が発令。谷浅見コミュニティセンター、烏山南公民館、下川井上公民館、大木須集会所、藤田公民館、三箇公民館に避難所が開設されました。

城東地区では、用水路および那珂川が増水し浸水。水は広範囲に広がり、22

公共施設浸水：水道庁舎、保健衛生センター（一時受入停止）、大桶運動公園（当面使用停止）、南那須公民館、烏山野球場（当面使用停止）、レインボーハウス

「河川被害」 那珂川、荒川、江川

「市道被害」 倒木31か所、法面崩壊6か所、路面洗掘7か所、土砂流入24か所

「下水道施設浸水」 城東浄水場、森田浄水場、境浄水場、境東取水場

※浸水により給水停止（21日に全面復旧）

「商工業被害」 50件被害額9億6千万円（10月29日現在）

「農林被害」 ▽農作物：被害額2410万円
▽畜産：被害額40万円 ▽農漁業施設：被害額1億680万円

▽農地：那珂川流域246.7ha、荒川流域149ha、江川流域68.1ha ▽農道・林道など：下川井地内橋（梁破損（10月23日現在）

「災害廃棄物受入」 旧境小学校（16日閉鎖）、南那須運動場（17日閉鎖）、緑地運動公園（25日閉鎖）、大桶運動公園

「その他」 被災家屋の消毒
「イベント」 ▽中止：健康福祉まつり、ミニ図書館まつり、文化祭、盆栽展、JAまつり、消防団内点検・通常点検 ▽延期：花火大会、なすから男女共同参画フォーラム、映画「二宮金次郎」特別上映会、烏山図書館まつり、ジオパーク講演会、市表彰式

※延期については、後日、日程調整

※花火大会は、11月16日（土）に、市表彰式は、30日（土）に行われます。



あたたかいご支援 ありがとうございました

▽ボランティアセンター(社協)延べ253人 ▽陸上自衛隊・給水作業、入浴施設設置、浄水設備復旧、道路警戒、土砂排除 ▽日本水道協会栃木県支部・給水車派遣 ▽北関東総合警備保障・給水車派遣 ▽住友生命・飲料水提供 ▽鈴木楽器販売・飲料水提供 ▽市貝町・飲料水提供 ▽那珂川町・飲料水・作業用水・給水車提供 ▽町営入浴施設・南平台温泉・八溝温泉の減額 ▽さくら市・市営入浴施設・道の駅きつれがわ入浴施設の減額 ▽日赤・安眠セット提供 ▽栃木銀行・タオルセット提供 ▽大塚製薬・経口補水液提供 ▽ぎょうせい・タオル提供 ▽栃木県農業会議・軍手・タオル提供 ▽日本生命・タオル提供 ▽明和会・入浴施設の提供 ▽風月カントリークラブ・入浴施設の提供

時20分には水道庁舎および城東浄水場も浸水し大きな被害となりました。

22時23分に那珂川流域(大桶・谷浅見・興野・滝田・宮原・城東表・野上・下境・小原沢)に警戒レベル4の避難指示(緊急)が発令され、22時58分には、上川井地区の国道293号付近の江川堤防右岸が決壊。23時52分には、藤田地区の荒川堤防が複数箇所決壊し、警戒レベル5、災害発生情報が発令されました。

翌13日午前0時、市内15か所の避難所の避難者は、144世帯348人のほりまりました。向田地区と境地区では、浸水被害などにより、25日現在も避難生活を強いられている住民がおり、避難生活の長期化が予想されています。

0時20分、荒川の増水により向田の荒川橋付近堤防左岸が越流し、0時39分に森田橋下流堤防右岸が越流。災害発生情報が発令されました。

境地区では、避難所となっていた旧境保育園前の道路が冠水したため、1時45分に避難所を閉鎖。上境地内の境公民館に避難所を移設しました。

夜が明けると、災害の爪痕の大きさが浮き彫りとなりました。浸水被害は床上浸水197棟、床下浸水57棟に上り、水道庁舎や保健衛生センター、大桶運動公園など多くの公共施設も被災しました。

水道施設の被災により、烏山市街地や七合・境・高瀬・森田・大里・曲田・小埜地区で断水となることが見込まれたた

め、山あげ会館で給水活動を開始しました。その後、栃木県知事あて、自衛隊の災害派遣を要請(給水車の派遣し、自衛隊や各団体の協力を受け、境公民館、輪之内公民館、烏山中央公園、広域行政センター、那須南病院などで順次給水活動が行われました。

14時からは、旧境小学校で災害廃棄物(量)の受け入れを開始。浸水した量が續々と運び込まれ、初日の枚数は約950枚に上りました。以降、南那須運動場、緑地運動公園、大桶運動公園で家電4品目、布団、衣類、粗大ごみ、不燃ごみ、畳の受け入れを開始しました。

17時頃、烏山市街地、七合・境・神長・滝野上・高瀬・森田・大里・曲田・小埜地区で断水となり、約4000世帯1万2000人あまりに影響が及び、14日の朝からは、各給水所に長蛇の列ができていました。

14日には、社会福祉協議会で災害ボランティアセンターが開設され、24日までに延べ253人が、自力復旧や復興活動が困難な人を対象に家屋内外の片付けなどの支援活動を行いました。15日には、自衛隊により烏山中央公園に野外風呂が設営され、災害で疲弊した住民の心と体を癒しました。

16日になると烏山市街地、七合・神長・滝野上・高瀬・森田・大里・曲田・小埜地区の一部と境地区を残して断水は解消されました。その後、境浄水場の復旧もあり、長かった断水は、21日に

被災者支援

【住まいに関すること】

- ・ 応急仮設住宅(賃貸型)…市内のアパートに入居可。
- ※住宅応急修理併用不可。(県住宅課☎028-623-2488)
- ・ 住宅の応急修理…全壊、大規模半壊、半壊、準半壊した住宅を被災者に代わり応急修理。(都市建設課☎88-7118)
- ・ 被災者生活再建支援…生活基盤に著しい被害を受けた世帯に支援金支給。(総務課☎83-1117)
- ・ 災害見舞金…被災者生活再建支援金が支給されない世帯に見舞金支給。(総務課☎83-1117)
- ・ 災害復旧等支援金…被災者生活再建支援金が支給されない世帯で、住宅・店舗・工場・倉庫・その他の建物に著しい被害を受け、復旧工事を行った被災者に、支援金交付。(総務課☎83-1117)
- ・ 日赤救援物資の配布…毛布・緊急セットを配布。(社会福祉協議会☎88-7881)

【減免などに関すること】

- ・ 国民年金…大きな被害を受け、納付困難な場合、申請して承認されると保険料を全額免除。(市民課☎83-1116)
- ・ 国民健康保険税、後期高齢者医療保険、個人住民税、介護保険料、固定資産税…被害の程度に応じ、減免する場合あり。(税務課☎83-1114)
- ・ 障害福祉サービス、介護サービス、保育料、放課後児童クラブ利用料…被害の程度に応じ減免。(健康福祉課☎88-7115、こども課☎88-7116、こども館☎80-0281)
- ・ 水道料金…浸水した被災住居の洗浄用途として減免。(上下水道課☎84-0411)
- ・ 下水道使用料…水道料金で減免した水量に対する下水道使用料を減免。(上下水道課☎84-0411)
- ・ NHK放送受信料…床上浸水以上程度の被害を受けた建物の受信料を10月から11月まで免除。(NHK宇都宮放送局☎028-634-0088)

【融資・貸付に関すること】

- ・ 災害援護資金の貸付…半壊以上の場合、被害状況と所得状況に応じて貸付。(健康福祉課☎88-7115)
- ・ 生活福祉資金の貸付…低所得世帯が被災した場合、臨時の必要経費を貸付。※市の災害援護資金を優先。(社会福祉協議会☎88-7881)
- ・ 災害復旧貸付…被災した中小企業・小規模事業者到低利な融資を実施。(日本政策金融公庫宇都宮支店中小企業事業☎028-636-7171)

【証明に関すること】

- ・ 被災証明書の発行…損害のあった建物の被災証明書を発行。(税務課☎83-1114)
- ・ 被災証明書の発行…被災証明書の対象とならない住家以外の建物や家財、自動車など、被災した事実を証明する証明書を発行。(総務課☎83-1117)

【農業に関すること】

- ・ 農地等の災害復旧事業…農地復旧、農業用施設(水路、農道など)復旧に対し、国庫災害復旧事業を導入し支援。農業経営再建のための各種支援を実施。(農政課☎88-7117)

※市では、被災者支援のため、義援金を募集しています。詳細は、会計課☎83-1119まで。



①浸水により剥がれたアスファルト(下境)、②自衛隊により中央公園に設置された野外風呂、③漂流物が絡まったブランコ(大桶運動公園)、④浸水により泥だらけになった南那須公民館事務室、⑤旧境小に運び込まれた大量の量、⑥増水した荒川(岩子)、⑦増水によりえぐられた堤防(岩子)、⑧各地で倒木が発生し道路が寸断された(下境)、⑨藤田地区の決壊した堤防



なつて全域で解消しました。
同日には、那須烏山市の災害救助法適用が決まり、被災者の生活再建への支援が国によって行われることとなりました。
また、18日から20日にかけて、り災証明書の集中発行を市役所烏山庁舎市民室で行い、3日間で125人に発行しました。また、同時に被災証明書の発行も行われました。

過去最大級ともいわれた今回の台風19号の関東縦断。市では、消防団などと協力して情報を収集しながら、被害を最小限に抑えるため警戒にあたりました。しかし、河川の増水による堤防の決壊は、住民生活や農業などに大きな影響を与えました。
市では、この災害を教訓に、災害に強いまちづくりを着々と進めています。その一環として、非常の際に正確な情報をいち早く市民に伝えるため、10月1日から新たな防災・行政情報伝達システム「防災Info(インフォ)なすからすやま」をスタートしました。この台風が、防災・行政情報伝達システムを本格的に使用する始めとなりましたが、開設間もないことから利用者が伸びておらず(24日現在702件)、課題となりました。また、多くが浸水被害を受けた水道施設の防災対策も、今後検討しなければならぬ大きな課題となりました。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑧



⑦

小学校・幼稚園・保育園で 運動会 盛んに

9月下旬から10月中旬にかけて、市内の小学校・幼稚園・保育園で運動会が開かれました。保護者や地域住民が見守る中、子どもたちは徒競走やダンスなどの練習の成果を発揮しました。その中からいくつかの運動会の様子を写真で紹介します。

①②烏山保育園 ③④マリア幼稚園
⑤⑥つくし幼稚園 ⑦⑧荒川小学校

収穫の秋到来！

園児がサツマイモ掘り

秋本番を迎えた10月。市内の若手農業者で構成される那須烏山市青少年クラブ協議会（山口喬亮会長）では、15日（火）につくし幼稚園の園児73人を、21日（月）にこにこ保育園の園児54人と子育て支援センターの親子9組を森田の畑に招待し、サツマイモ掘り体験を開きました。

園児たちが5月に植えた苗は大きく成長し、当日は、大きなサツマイモを一生懸命に掘る園児の姿が見られました。その様子を写真で紹介します。



うんとこしょ
どっこいしょ！



①～④にこにこ保育園
⑥～⑦つくし幼稚園



シリーズ

公民館講座に行こう！

～実施講座レポート⑥～

今回は「きのこ鑑定教室」について紹介します。

講座ではどんなことをしたの？

きのこアドバイザーの橘一十三さんが、実際に採取した「きのこ」について解説しました。

当初、2回の実施を予定していましたが、7月は天候不順の影響できのこの生育状況が悪く、残念ながら中止となりました。

9月27日（金）は天候にも恵まれ、多くのきのこを採取することが



採取したきのこを選別する参加者

できました。

参加者が採取したきのこを講師が選別すると、約半分は毒きのこでした。残りの食用きのこについては、美味しく食べる方法などをアドバイスしました。

美味しいきのこを楽しむために

今も昔も「きのこ狩り」は根強い人気がありますが、きのこに対する間違った知識によって、毎年食中毒が発生しています。今回の講座で学んだ知識だけでは、まだまだ安全とは言いきれませんので、絶対に素人判断はしないことが大切です。

今後の募集予定講座

○しもつかれ教室（1月31日（金））

栃木県の郷土料理である「しもつかれ」について学び、食べ物を無駄にしない文化を引き継いでいきましょう。

※詳しくは、市ホームページや広報お知らせ版をご覧ください。

■問合 烏山公民館

☎0287-83-1412

本市から2種目7人が

ねんりんピック和歌山へ

「ねんりんピック」とちぎ2019「でマラソン競技の2選手、およびゲートボールチームが優秀な成績を収め、11月9日(土)〜12日(火)に和歌山県で開かれる「ねんりんピック和歌山」への出場権を獲得しました。

■マラソン競技

県予選では、平山勝夫さん(野上)が男子60歳以上10kmで48分15秒、妻の平山フヂミさんが一般男女3kmで21分36秒の成績を収めました。

4回目の出場となる勝夫さんは、「県の代表として出場するので上位目指して頑張ります」と、初出場



マラソン競技の平山勝夫さん、フヂミさん夫妻

のフヂミさんは、「代表として走れることに感謝して、楽しみながら完走したい」と意気込みを語りました。

■ゲートボール

県予選でベスト4入賞を果たした、那須烏山クラブが2度目の出場を決めました。出場メンバーは、上條良資さん(小倉)、上條栄子さん(小倉)、高橋佳枝さん(小倉)、栗正さん(南大和)、板橋トミ子さん(南大和)です。主将の上條良資さんは、「楽しみながらも、力を合わせていい成績が残せるよう頑張りたい」と話していました。



ゲートボールの那須烏山クラブのみなさん

こころとからだに向き合う

女性のための健康講座

市では、昨年好評だった「女性のための健康講座」を今年度は5回へと増やし、保健福祉センターで、5月〜来年1月の日程で開催しています。

この講座は、女性が自分のこころとからだに向き合い、健康や頑張る活力につなげようと、助産師や料理研究家、エクササイズ指導者など多彩な講師陣で開いているもの。3回目の開催となった9月29日(日)には、ダンスエクササイズ「ZUMBA(ズンバ)」インストラクターの影山靖代先生を講師

師に、初心者でも楽しめる「ZUMBA&ストレッチ」が行われ、参加者は、軽快な音楽に乗って体を動かし、汗を流していました。

参加した雫智恵さん(小倉)は、「毎回楽しく講座に参加し、学んだことを生活に取り入れている。ZUMBAは、覚えやすい動きが多く、笑顔で楽しくできたので良かった」と話していました。

今後は、11月30日(土)に「バランスボール」、来年1月18日(土)に「健康薬膳」の講座を開催予定です。詳しくは、健康福祉課 ☎0287-188



音楽に合わせZUMBAをする参加者

17115)までお問い合わせください。

シリーズ

市の文化財

第102回

市指定有形文化財(書籍・典籍)
民家分量記(中央)



「民家分量記」は5巻5冊からなる常盤(とぎわ)邊(たんはへ)潭北(たんぼく)(延宝5年(1677)〜延享元年(1744)、下野国烏山出身の俳人)の主著であり、享保11年(1726)江戸と京都の書肆(しよし)現在(現在の出版社兼本屋)から出版されました。本書の外題は「民家分量記」ですが、内題は「百姓分量記」となっており、内題の方が同書の内容をはっきりと示しています。

本書には家の和合や郷党の和順親睦といった農民向けの教訓が記されており、修身教育・家庭教育のあり方や、奢侈(しよし)贅沢(ぜいたく)への戒めなど、実践的な道徳を説いたものとして当時高く評価されました。

小規模多機能型居宅介護とは

今月号では「小規模多機能型居宅介護」について説明します。

①「小規模」であること

登録定員は29人以下と定められています。

②「多機能」であること

一つの事業所から「通いサービス(デイサービス)」「訪問サービス(訪問介護)」「宿泊サービス(ショートステイ)」という3つの介護サービスが受けられます。また、ケアマネジャーもその事業所内にいます。

③「居宅介護サービス」であること

「居宅介護サービス」は、自宅で生活しながら受けるサービスです。

④「地域密着型サービス」であること

原則として那須烏山市にある事業所は那須烏山市民だけが利用できるサービスです。

⑤「柔軟なサービス」が受けられる

利用者や家族の状況に合わせ、急な「通い」や「宿泊」サービスも利用することができます。

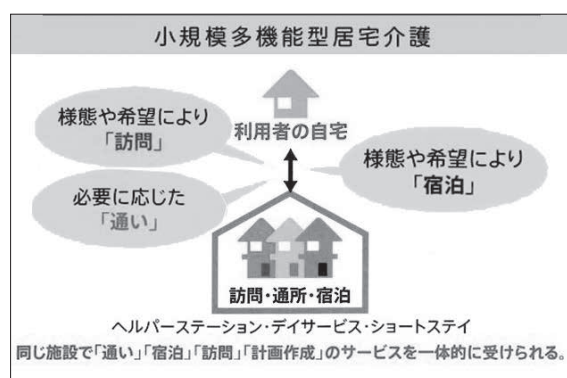
⑥「一ヶ月単位の定額制」であること

要介護度に応じた、定額制(月額)です。

これらの特徴から小規模多機能型居宅介護は、「通い」「訪問」「宿泊」を一つの事業所で、馴染みの関係が築かれているスタッフのもと、利用者一人ひとりに合わせて利用することができます。

特に、認知症の症状がある人は、環境の変化に敏感ですが、馴染みの関係・場所でサービスを受けることは、本人や家族の安心にもつながります。

人は、たとえ病気になっても、住み慣れた地域で、顔馴染みの人たちと関わり合いながら、最後まで自分らしい「暮らし」や「生き方」をしたいと願うもの。小規模多機能居宅介護は、そんな願いに寄り添う介護サービスです。



健康福祉課 ☎ 0287-88-7115

消費者ほっと♥らいふナビ

チケット不正転売禁止法について

人気のコンサートや舞台、スポーツイベントなどのチケットを、業者や個人が買い占め、オークションやチケット転売サイトなどで定価を大幅に上回る価格で販売する「高額転売」。行きたかったコンサートや舞台、スポーツイベントのチケットが発売早々に売り切れてしまったので、そのチケットをオークションやチケット転売サイトで探してみたら、定価の何倍もの価格で出品されていた――。

みなさんは、そんな経験はありませんか？

このような不当な転売により、チケットを本当に求めている人にとって入手しづらい状況が続いてきました。そこで、チケットの高額転売等を禁止するため、2019年6月14日からチケット不正転売禁止法がスタートしました！チケット不正転売禁止法は、国内で行われる映画、音楽、舞踊などの芸術・芸能やスポーツイベントなどのチケットのうち、興行主の同意のない有償譲渡を禁止する旨が明示され、かつ座席指定などがされた

チケット(同法律では「特定興行入場券」と言います)の不正転売などを禁止する法律です。不正転売とは、興行主に事前の同意を得ずに反復継続の意思をもって行う有償譲渡であって、興行主などの販売価格を超える価格で特定興行入場券を転売することを意味します。

禁止される行為

- ・ 特定興行入場券(チケット)を不正転売すること
- ・ 特定興行入場券(チケット)の不正転売を目的として特定興行入場券を譲り受けること

チケットを買うときの注意点

- ・ 正規のルートで買うこと
 - ・ チケットの転売条件に関する情報を確認すること
- みなさんルールを守ってチケットを購入しましょう！

那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00~12:00、13:00~16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン ☎ 188(局番なし)」へご相談ください。



まちのわだい

「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

竹と毛布で作った担架で救助者を運ぶ地域住民



桜扇花カラオケ愛好会

秋季発表会で自慢のノドを披露

10月6日(日)、境公民館を会場に、桜扇花カラオケ愛好会による4回目の「秋季発表会」が開かれ、翔桜扇花代表の舞踊を皮切りにカラオケ好きの参加者が自慢のノドを披露しました。

同会の翔桜扇花代表は、「舞踊とカラオケをとってお年寄りに楽しんでもらいたい。また、多くの人に活動を知ってもらい、今後、社会貢献につなげていきたい」と話していました。



舞踊を披露する翔桜扇花代表

大桶下自治会防災訓練

地域住民が災害に備える

10月20日(日)、大桶下公民館で、大桶下自治会防災会(小原澤文雄会長)による防災訓練が開かれ、地域住民40人あまりが参加しました。

東日本大震災後の平成25年に結成されたこの防災会による訓練は今回で6度目。地域の人々に自然災害に対する意識の高揚と災害に遭った時の対処の仕方などを学んでもらおうと毎年開催されています。

訓練では、南那須地区広域行政事務組合消防本部の職員や地元消防団の協力を得て、地震発生を想定した救助訓練や水消火器を使った消火訓練、煙が立ち

込める室内の疑似体験や自動体外式除細動器(AED)の使用方法などを学びました。

また、消防本部職員による「災害時における心構えや対処の仕方」と題した講話や炊き出し訓練も行われました。

受け継がれる伝統の舞

■熊田太々神楽

10月14日(月・祝)、市指定無形民俗文化財の「熊田太々神楽」が熊田西公民館で行われ、地域住民を前に、「総禮舞」や「大蛇退治舞」など7つの舞が披露されました。



熊田太々神楽

熊田太々神楽は明治12年頃に齊藤継定神宮と熊田素菊神宮が習得した舞を熊田の有志に教えたのがきっかけといわれています。31の舞があり、全てが口頭伝承で会員の長男にのみ受け継がれてきましたが、後継者不足などにより、現在は保存会を中心に技術が受け継がれています。「巫女舞」では、小学3年生から6年生の6人が練習の成果を発揮。また、「大蛇退治舞」では、

■興野ささら獅子舞

10月20日(日)、市指定無形民俗文化財の「興野ささら獅子舞」が、日枝神社と興野集会所で披露されました。



興野ささら獅子舞

興野ささら獅子舞は、三頭の獅子が笛の音に合わせ、腰太鼓を打ち鳴らしながら舞うもので、約180年の歴史を誇る伝統行事です。今年の獅子は、七合小学校6年の渡引功基さん(牡獅子)、滝田優斗さん(中獅子)、五月女侑葵さん(牝獅子)が務め、勇壮な舞で観客を楽しませました。また、「ひよっこ」の道化も登場。ひよっくさんな動きで興を添えました。

第8回図書館まつり

9月29日(日)、南那須図書館で「第8回図書館まつり」が開かれ、約1600人の人出でにぎわいました。

まつりでは、本のコートかけ体験や押し花のしおり作り、お楽しみ抽選会など多彩な催しで来場者を楽しませました。なかでも、図書や雑誌を無料で配布し、毎回大好評のリサイクルフェアは、会館前から長蛇の列ができていました(写真)。

また、図書館駐車場では、フリーマーケットも開かれ、多くの親子連れでにぎわいました。



鳥山中と南那須中で学校祭 合唱コンクール盛り上がる

10月5日(土)、鳥山中と南那須中でそれぞれ学校祭が開かれ、保護者や地域住民、卒業生などにぎわいました。



県大会で初優勝を果たした特設ダンス部による発表

鳥山中では、郷土芸能部の軽快なリズムのお囃子(はし)をオーブニングに、各学級による合唱コンクールのほか、特設合唱部や吹



多くの生徒や家族などの前で披露されたクラス別の合唱コンクール

奏楽部、科学部、特設ダンス部による発表が行われました。特に盛り上がりを見せたのは、

県中学総体で初優勝した「特設ダンス部」の創作ダンス。生徒の表現力は圧巻で見る人をその世界観へ引き込みました。

南那須中学校では、英語のスピーチコンテストや少年の主張、合唱コンクール、吹奏部演奏会やダンスまで、様々な活動が披露され、観客を沸かせました。

また、会場の一角には、絵画や書道など生徒が作成した芸術作品も展示。特に、生徒たちが同祭にかける思いや意気込みを大木に実らせる演出で制作した作品は目を引き、人だかりとなっていました。

J Aなす南と那須鳥山・那珂川両警察署が 地域安全活動に関する覚書締結

J Aなす南と鳥山警察署、那珂川警察署は、10月9日(木)、鳥山城カントリークラブで「地域安全活動に関する覚書」を締結しました。地域安全に関する活動を推進することで、犯罪や事故を防ぎ、安全・安心のまちづくりを進めようというものです。

今後、J Aなす南により、ドライブレコーダーや防犯カメラの映像記録の提供、児童・生徒の登下校時間帯における通学路での見守り活動など様々な支援が行われます。



覚書を締結したJ Aなす南と両警察署

マスターズ空手の生魚さん 全国大会で3位入賞

8月号で紹介した白聖会空手道の生魚英子さん(横枕)が、9月14日(土)16日(月)に岐阜県で開催された日本マスターズ2019ぎふ清流大会個人女子組手競技3部(45〜49歳)で第3位の成績を収めました。

白聖会栃木本部鳥山道場の今井保二最高師範の指導のもと、

4年間練習を重ねてきた生魚さん。全国3位の快挙に「今井師範や子どもたちのおかげ」と話しつつも、「準決勝戦は、全力を出し切れず悔いの残る試合になってしまった。今後はさらに技術やメンタル面を強化し、来年は優勝を目指したい」と意気込みを語りました。



生魚さん(右)と今井師範(左)

おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 松井 陽 (光・紫音) 大里
 荒井 颯 (大輔・梨紗) 南1丁目
 深澤 旭陽 (靖・由莉子) 南大和久
 大森 稜 (伸哉・美沙希) 森田
 石井 実枇 (泰之・友美) 下境
 平野 千愛 (竜也・裕梨) 野上
 戸谷 楓 (多加恵・朋子) 南1丁目
 カーン ファリヤール (アリズル・フィカール・アマスラハミダ) 旭1丁目
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第38回日本空手道白聖会選手権大会 (8月25日(日)、小豆沢体育館)
 「小学生上級(5・6年女子組手)」▽優勝・大輪莉央奈(境小6年) ▽準優勝・荒井亜美(鳥山小6年)
 ●第15回市民ソフトボール大会 (9月2日(月)～4日(水)、緑地運動公園)
 ▽優勝・藤田 ▽準優勝・こぶし台 ▽第3位・川井、八ヶ代
 ●第11回那須烏山支部秋季野球大会 (9月8日(日)、15日(日)、22日(日)緑地運動公園、大桶運動公園)
 ▽優勝・鳥山信用金庫 ▽準優勝・侍 ▽第3位・南大和久B・C、ロングランズ
 ●第59回栃木県高等学校新人陸上競技大会 (9月14日(土)～9月15日(日)、栃木県総合運動公園陸上競技場)

「男子4000mH」▽第1位・塩野目友都(宇都宮) 「男子4×100m」▽第3位・宇都宮(塩野目友都) 「男子4×400m」▽第1位・宇都宮(塩野目友都)
 ●第11回栃木県空手道少年秋季大会 (9月23日(月・祝)、大田原市県北体育館)
 「組手の部」
 「小学3～4年団体組手」▽第3位・白聖会B(小森陽望、大輪映奈、大輪咲奈) 「小学5～6年団体組手」▽第3位・白聖会A(大輪莉央奈、荒井亜美、村山晴琉) 「小学1～2年生団体組手」▽敢闘賞・白聖会A(鈴木恵佳、阿部晟大、小森海璃) 「小学3～4年生団体組手」▽敢闘賞・白聖会A(荒井萌維、荒井斗真、齋藤陽)
 ●第1回武蔵氷川の杜空手道選手権大会 (9月29日(日)、さいたま市大宮体育館)
 「組手の部」
 「小学3年女子組手」▽優勝・大輪咲奈(白聖会空手道) ▽第3位・大輪映奈(白聖会空手道)
 ●創立45周年記念第5回宏倫少年少女剣道錬成大会 (10月6日(日)、那須烏山市武道館)
 「中学1・2年生男子の部」▽準優勝・沖村愛希(宏倫剣道) ▽第3位・二見倫靖(宏倫剣道)
 ●8020推進財団理事長賞
 ▽小林繁(大金)
 ●那須烏山市体育協会表彰
 「優秀選手賞」
 ・渡邊錬(曲畑)・剣道

・高森勇斗(中山)・レスリング
 ・塩澤美幸(大里)・テニス
 ・横山峻(南1丁目)・バスケットボール
 ・永井学翔(三箇)・バスケットボール
 ・滝田本郷(いきいきクラブ)・グラウンドゴルフ
 ・村山寧々(下川井)・空手道
 ・荒井萌維(神長)・空手道
 ・大輪莉央奈(下境)・空手道
 ・生魚英子(横枕)・空手道
 ・増渕有花(大金)・アーチェリー
 ・鳥山高校アーチェリー部・アーチェリー
 ・大野治樹(大桶)・サッカー
 ●健康長寿とちぎづくり表彰
 ▽入賞・ヘルシーアップサークル那須烏山(碓氷正和代表)
 認定
 ●令和元年度チームとちぎジュニア選手「ソフトボール」▽塩野目愛莉(鳥山小6年) 「空手道」▽荒井亜美(鳥山小6年)
 ▽大輪莉央奈(境小6年) 「サッカー」▽小堀椿葵(鳥山中1年) 「バスケットボール」▽横山倅(鳥山中1年) 「ゴルフ」▽佐々木俊輔(鳥山中1年) 「スキー」▽塩田優介(南那須中2年)
 寄附
 ●ふるさと応援寄附金
 小林昌彦様(東京都豊島区)、安齋勇一様(福島県二本松市)、山崎晃彦様(東京都大田区)から各1万円、匿名希望者様14人から計27万7千円が本市に寄附されました。

編集後記

○過去最大級?ともいわれた今回の台風19号。本市も大きな被害を受けてしまいました。職員は午後9時前に緊急招集がかかり、対応にあたりました。私も、広報と記録写真の撮影のために被災現場を回ったのですが、いつも見ている風景の変わり果てた姿がとても衝撃的でした。特に増水した河川は流れがとても速く、濁流に鳥肌が立ちました。普段の生活では感じない水の恐怖。今回の災害では、多くのことを学びました。
 ○今回の災害で、学んだことの1つに、泥道の運転の怖さがありました。浸水被害に遭った鳥山野球場の写真撮りに行ったとき、奥の方に車を止めようとしたところ、タイヤが空回り…。泥にはまってしまっても後ろにも進めなくなってしまう。泥でタイヤがあんなに滑ることも、抜け出せることも知りませんでした。(雪道よりも運転が怖いかも…?)車を引つ張り、助けてくださった方、この場をお借りして…本当にありがとうございました。
 ○もも(愛犬)も台風が怖く、弟のバイクに隠れていたようです。翌朝、母から送られてきた写真には、おでこと鼻の上に油のついたももが。あれ?もしかして「頭隠して尻隠さず」?



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

★一般図書★

『人生おたすけ処方本』 三宅 香帆
 『人生を変える記録の力』 メンタリストDaiGo
 『まんが墓活』 井上 ミノル
 『やさしい麴』 関 由佳
 『はじめての「ポイ活」応援BOOK』 「ポイ活」スタート研究会
 『旅の作法、人生の極意』 山本 一力
 『二人のカリスマ上・下』 北路 透
 『昭和40年男』 佐川 光晴
 『青春』 吉田 修一
 『Iの悲劇』 米澤 穂信

『追跡! ごみのゆくえ 燃やすごみ』 吉田 忠正
 『もうひとつの曲がり角』 岩瀬 成子
 『あきのセーターをつくりに』 石井 睦美
 『ねことねこ』 町田 尚子
 『おまつりおばけめぐり』 本山 浩子

★CD★

『LOVE』 菅田 将暉
 『turntable』 竹内 まりや
 『いつか、その日が来る日まで・・・』 矢沢 永吉
 『第九』 GReeeeN
 『微吟』 ちあき なおみ
 『ラヴァー』 テイラー スウィフト
 『ダイヤモンド・グレイテスト』 エルトン・ジョン
 『歌袋』 横山 だいすけ

★児童図書★

『なんでもはかれる! 単位の本』 石倉 ヒロユキ
 『ちがいがわかるいきもの図鑑』 成島 悦雄

2019.10.1現在
 () 対前月比

人口 25,144(-47)

男 12,478 女 12,666
 出生 11 死亡 33
 転入 32 転出 57

世帯数 9,327

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー

俳句

車椅子元気をもらふ盆踊

コスモスの倒れてもまた天めざす

里山やかなかなの声風にのり

どこまでも青空曼珠沙華の畦

川柳

とめどない四方山話女客

もどかしく土産を開く包装紙

丸いはず尖った国もある地球

北限の国見みかんに舌鼓

短歌

朝まだき夜来の雨は蜘蛛の巣に玉露となりてきら

きら光る 吉澤 紅月(南)

神無月黄金の波は消え失せてなぜか侘しい里の夕

暮れ 水上キヨ子(志鳥)

煙草のし一枚ごとに皆ちがう人も同じよそれぞれ

ちがう 平野フミ子(向田)

腰伸ばしグラウンドゴルフに興ずればしばし賑わ

う廃校の庭 古内 晴代(金井)

水野 信一 選

西森 一雄(南大和久)

高野 洋子(興野)

塩坂美枝子(南大和久)

川俣登志子(旭)

篠崎 酔月 選

山本 愛子(下川井)

羽石 妙子(向田)

樋山 隆(向田)

関 元氣(小堀)

滝口 節子 選

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
 (〒322-1069 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

広告掲載募集中

市では、「広報お知らせ版」・「広報なすからすやま」・「市ホームページ」の有料広告を募集しています。

掲載基準等詳細は、市ホームページで確認するか、下記あて問い合わせください。

■総合政策課広報広聴グループ

☎0287-83-1112



おわびと訂正

10月号2ページ決算の記事で、「地方交付税については、普通交付税の合併算定替(※1)の縮減措置が3年目となり、また、基準財政収入額が伸びたことなどから1億8446万4千円(4.6%)の減額となりました」とあるのは「普通交付税については、合併算定替(※1)の縮減措置が3年目となり、また、基準財政収入額が伸びたことなどから1億8446万4千円(4.6%)の減額となりました」との誤りです。おわびし訂正いたします。

シリーズ 烏山高校ってこんなところ! ~「烏山学」編~

外国人観光客に那須烏山市をPRしよう

「烏山学+(プラス)」における新プログラム、「外国人観光客に那須烏山市をPRしよう」が、9月19日(木)、2年生23人を対象に浅草で行われました。この活動は、外国人観光客に本市を英語でPRするもので、事前学習として、外国人と話すときに使える英会話の基本フレーズや接する時のマナーなどを学習した後、浅草へと向かいました。浅草では、外国人が多く参加する「はとバスツアー」に参加し、ツアーガイドの英語でのコミュニケーションの仕方や、外国人との接し方を学び、本市のPRを実践しました。



生徒のコメント

2年 塩野目明音さん(下境)

ガイドさんの英語の説明はシンプルで比較的簡単な単語を組み合わせで説明しているように感じました。また、外国人観光客のみなさんへの問いかけに対するリアクションも笑顔も大きかったです。

プログラムに参加し、私たち日本人が、外国人に対してもっと受け入れ態勢を取るべきだと思いました。文化の違いを認めることで、外国人観光客の人々も安心して日本を訪れることができると思います。

本校生から、世界に目を向け、地元で貢献できる「グローバル人材」が多く育ってくれることを期待しています。

生徒のコメント

2年 金子茉椰さん(那珂川町)

1年生の時にこのプログラム(1年生では日光市)を選択し、外国人の人々とコミュニケーションをする楽しさを学んだので、2年生でも同じプログラムを選択し、さらに自分の英語能力を高めたいと思いました。

最も学んだことは、外国人と日本人とのコミュニケーション能力と知識の差です。日本人の多くは初対面の外国人と話す際、どう話せばよいかではなく、何を話せばよいか分からないから話せないのです。コミュニケーション能力も必要ですが、自国に対する知識を豊かにする必要もあります。



特別な環境で育まれた「国見みかん」

本市の小木須地区では、川霧を利用したみかん栽培が行われています。一般的に、温暖な地域での生産が多いみかんですが、気温の逆転現象を起こす地形であることや、冬でも霜が降りにくい無霜地域であることから、本市での栽培が可能とされています。

「国見みかん」は酸味と濃厚な味が特徴で、この地域ならではの味わいを楽しむことができます。ちょうどこれから時期、美しい景色と秋の味覚を味わいに、出かけてみてはいかがでしょうか。

特別な環境で育まれた「国見みかん」

那須烏山ジオパーク構想だより 31

〜見どころ紹介〜

小木須地区で採れるみかんは、原種栽培の観光みかん園の中では日本最北端の「国見みかん」として、市の特産品の1つでもあります。